

写真家石元泰博 モノクロに見る 国東紀行

昭和の「くにさき」を訪れた客人(まろうど)たち

岡本太郎

吉増剛造

大護八郎

石元泰博



両子寺 © 高知県, 石元泰博フォトセンター



旧千燈寺 © 高知県, 石元泰博フォトセンター

昨年、六郷満山開山1300年を迎え、多くの方々が「くにさき」を訪れて下さいました。
今回の企画展では、約40年前の「くにさき」の情景を「客人(まろうど)たち」の
秀逸かつ斬新なパネル写真(モノクロ版)や言葉で「くにさき」の魅力を演出しています。
昭和の「くにさき」を一緒に旅してみませんか？

令和元年

令和2年

12月14日(土) ~ 4月5日(日)

国東市歴史体験学習館 1階企画展示室

時間 9:00~17:00(最終入館は16:30まで)
※初日の一般入場は13:00~

休館日 ・月曜日・祝日の翌日・年末年始(12月29日~1月4日)

入館料 一般(高校生以上)..... 200円(団体150円)
子ども(小・中学生)..... 100円(団体 50円)

ギャラリートーク 会場：国東市歴史体験学習館

12月14日(土) 13:30~

石元泰博と「国東紀行」

高知県立美術館石元泰博フォトセンター長代理兼学芸課チーフ 天野 圭悟氏

1月12日(日) 13:30~

岡本太郎について

大分県立美術館 館長代理 渡辺修武氏、学芸員 木藤野絵氏



提供 公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
岡本太郎記念館

岡本太郎

おかもと たろう

1911(明治44)年、神奈川県川崎市生れ。岡本一平とかの子の長男。東京美術学校(現東京藝術大学)に入学。父母の渡欧に同行し、1930年からパリに住む。数々の芸術運動に参加しつつ、パリ大学で哲学・社会学・民族学を専攻、バタイユらと親交を深める。帰国し兵役、復員後、創作活動を再開、現代芸術の旗手として次々と話題作を発表した。1970年大阪万博テーマ館をプロデュース。一方、旺盛な文筆活動も続けた。

1939(昭和14)年、東京都阿佐ヶ谷生れ。6歳の時に和歌山市に疎開。10歳の時に福生第1国民小学校で疎外され弟と啓明学園に転校。生まれて初めて詩を書く。慶應義塾大学文学部に入学。「釜ヶ崎」のドヤ街の二畳間で3ヶ月ほど暮らす。「三田詩人」を皮切りに様々な詩誌に多数の詩作を発表。1970年アイオワ大学に招待され滞在。詩集「黄金詩篇」(思潮社)で第1回高見順賞受賞。1979年オークランド大学客員助教授としてデトロイトに滞在。旺盛な詩作活動の中、城西大学、サンパウロ大学、早稲田大学で教鞭をとる。2015年日本芸術院賞と恩賜賞を受け、2016年東京国立近代美術館にて「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」が開催される。現在も、世界を舞台に旺盛な詩作活動を続けている。

吉増剛造

よします ごうぞう



撮影 中野愛子



提供 大護皓夫

大護八郎

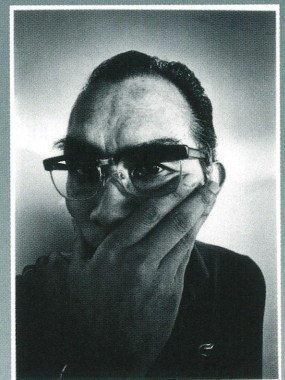
だいが はちろう

1912(大正元)年、埼玉県坂戸市生れ。埼玉県師範学校、日本大学文理学部高等師範部地歴科卒業。県立川越高等学校教諭、国際学友会日本語学校教授、埼玉県立文化会館館長、群馬大学講師を歴任。1950年より石仏の研究に入り、1977年に設立された日本石仏協会の初代会長として創設に尽力、教会発行の機関誌は1977年3月発行の第1号から2019年8月発行の最新号第168号を数える。「石神信仰」、「庚申塔」、「道祖神」、「路傍の石仏」他多くの著書や「石仏の美」や「国東半島の石仏」(渡辺信幸氏との共著)などの共著も多数残している。

石元泰博

いしもと やすひろ

1921(大正10)年、サンフランシスコ生れ。両親は、高知県からの移民。3歳の時に両親とともに高知県へ帰る。10歳の時に景品で当たったボックス・カメラで初めて写真を撮る。1939年高知県立高知農業高等学校卒業。同年単身渡米、カリフォルニア大学農業スクールに入学。第二次世界大戦が始まり、収容所生活を経験、終戦後ノース・ウェスタン大学建築科に入学するが1年で退学、シカゴのインスティテュート・オブ・デザイン(後にイリノイ工科大学に編入)に入学、1952年卒業して写真で学士号を取得。1953年来日、1954年桂離宮の撮影を行う。桑沢デザイン研究所の講師を始め、東京総合写真専門学校、東京造形大学で教鞭をとる。1957年「日本のかたち」桂離宮で第1回日本写真批評家協会作家賞を受賞、その後は「伝真言院両界曼荼羅」で芸術選奨文部大臣賞、世界書籍展(ライブチビ)で「世界で最も美しい本」金賞、マスター・オブ・フォトグラフィー(アール国際写真フェスティバル)など多くの賞を受賞。2012年には、正四位と旭日重光章が授与された。



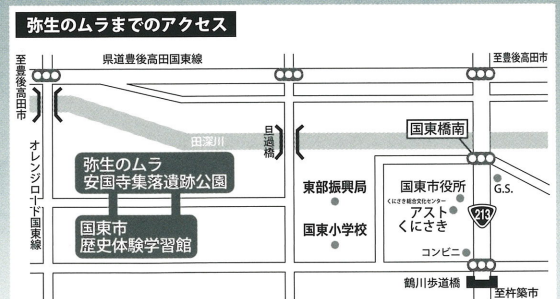
© 高知県、石元泰博フォトセンター

※企画展示室内には本展に関連した書籍を集めた読書コーナーを設置しています。

主催 国東市、国東市教育委員会

後援 国東半島宇佐地域・六郷満山誘客推進協議会、六郷満山日本遺産推進協議会、大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、西日本新聞、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、J:COM 大分ケーブルテレコム、エフエム大分、NOAS FM

協力 高知県立美術館石元泰博フォトセンター、公益財団法人分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館



お問い合わせ

国東市歴史体験学習館

〒 873-0504 大分県国東市国東町安国寺 1639-2
TEL 0978-72-2677 FAX 0978-72-2505